

<p>授業科目</p> <p>比較宗教研究</p>	<p>単位</p> <p>2単位</p>
<p>授業担当者</p> <p>白川 千尋</p>	<p>授業期間</p> <p>前期</p>
<p>授業の題目と概要</p> <p>題目：「呪術と科学の文化人類学」</p> <p>この授業では、地域社会の人々の間における呪術と科学の相互関係に関する理解を深めるために必要な理論的枠組みについて検討することを目的とする。</p>	
<p>授業の内容と計画</p> <p>授業の前半では呪術に関する文献を、後半では科学に関する文献を批判的に読み込み、議論を行うことで、既存の理論的議論の効用と限界を探る。呪術については文化人類学の文献、科学については科学哲学の文献を主として取り上げる。</p> <p>受講者はそれぞれ文献に基づく発表を行い、発表担当会でないときには発表者とともに議論を行う。また、授業に関連する共同研究会やシンポジウムなどが民博で開催された際には、積極的に聴講することが求められる。</p>	
<p>使用する参考書、参考論文等</p> <p>授業のなかで随時指示する。</p>	
<p>成績評価基準</p> <p>発表の担当状況と出席状況、期末のレポートによる。</p>	
<p>その他の留意事項</p>	